



逗子ロータリークラブ

第 2842 回例会
2021 年 9 月 9 日

2021-22 年度 会長：服部城太郎 幹事：鈴木弘毅

事務所：逗子市桜山 6-3-29 TEL & FAX：046-873-0226

E-mail：zushirc@sage.ocn.ne.jp

例会場：「カンティナ」 逗子市新宿 1-3-15 TEL：046-870-6440

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

例会日：第1・2・4 木曜日 12:30 第3 木曜日 18:30 第5 木曜日 18:00



第 2842 回 例会プログラム (Zoom)

- 12:30 開会宣言 矢部 S.A.A
点 鐘 服部会長
ロータリーソング斉唱
来訪者 (ゲスト・ビジター) の紹介
入会式：手島 万里氏
会長の時間：服部会長
幹事報告：来信・告示事項
委員会報告：
出席報告：
ニコニコ BOX 発表：
- 13:00 「イニシエーションスピーチ」
手島 万里 新会員
- 13:30 閉会宣言 矢部 S.A.A
点 鐘 服部会長

服部会長の時間

<基本的教育と識字率向上月間>



先週からようやくコロナ感染の拡大が収まりつつありますが、いまだ、入院者は多く、気の抜けない状況が続きます。みなさま体にお気をつけて過ごしてください。

さて、9 月は基本的教育と識字率向上月間です。

当クラブで国際支援を予定しているキルギスは、統計上の識字率は非常に高く、99%以上もあり、日本並みの水準です。これは、ソ連は教育水準が高く、キルギスやウズベキスタンなどの地方にもロシア中央と同じような教育環境を維持していたからで、ソ連をユートピアとしたかった社会主義イデオロギーの恩恵にあずかったものです。

実際に、ソ連時代は、どの地方にいてもロシア語が通じ、キルギス人もロシア語を通して世界の高い水準の技術や文学に触れることができました。しかし、1991 年のソ連崩壊以後、独立した各国は愛国的な政策をとり、ロシア語の使用を減らし、民族の言葉を主に使うようになりました。例えばキルギス語はトルコ語系の言葉です。

トルクメニスタンは、“中央アジアの北朝鮮”とも言われる独裁国家ですが、2004 年に私が同国の首都アシガバードに出張したとき、真夏で 50 度もの暑さの中、道端のアイスクリーム売りの少年にロシア語が全く通じずショックを受けました。過度な愛国主義がロシア語排斥につながり、国民の世界へのアクセスが難しくなっています。現在のキルギスも、首都ビシュケクではロシア語が通じ、ビシュケク RC のメンバーはかなり英語も通じます。しかし、一歩首都から離れると、英語はおろかロシア語も通じず、教育水準も大きく下がります。もともと都市と地方の格差はありましたが、今はさらに拡大しています。

我々のキルギスへの支援策は乳牛の寄付の予定ですが、対象は経済的に恵まれず、教育の機会が少ない、障害者のいる家庭です。我々のできる支援は決して大きくはありませんが、経済的安定が教育の余裕を生むという点では、基本的教育と識字率向上に役立ちます。早くコロナが収束し、国際奉仕活動を行えることを祈ります。

予 定

9月16日(木)	18:30 新世代からの報告 (BS 逗子 第1団・GS 第39団・逗子葉山 JC)
9月23日(木)	休会
9月30日(木)	18:00 国際奉仕フォーラム 畠中会員
10月7日(木)	12:30 「米山月間にあたって」 矢部房男地区米山奨学資金推進委員長
10月14日(木)	12:30 「逗子市の自治について」 徳本恒徳様

2841 回 例会記録 2021 年 9 月 2 日(木)

出席報告：会員数 45 名

出席者：21 名 46.7% 前回修正後 62.2%

幹事報告：・9月ロータリーレート 1ドル 110円

・9/11 アクターズミーティングの中止 (次回 10/9)

・2022 年ヒューストンでの国際大会、プロモーションビデオを各会員へメールにて送付

・会報と「みるみるロータリーの友」をメールにて送付

卓話 「ファームキャニングの活動」 西村 千恵様



西村 千恵様

ファームキャニング合同会社の西村千恵（逗子在住）と申します。FARM CANNING とは「畑をビンに詰め込む」と言う造語です。農家さんから仕入れた野菜を使ってビン詰め野菜ソースなどの製造販売、ケータリング事業および野菜ビン詰めクラスや講習会などを行っています。

この仕事に興味を持ったそもそもの出発点は、高校時代にAFSでドイツの田舎町に1年留学した時のホストファミリーの元ヒッピーのお母さんから食に関する多くの学びを得た事によります。

こちらに来る前、私は東京・恵比寿で小さなオーガニック・カフェの立ち上げとマネジメントを行っていました。当時、小さな息子を抱えながら仕事に没頭していましたが、二人目の子が授かった段階で超多忙な生活を一旦休止しました。

そして6年前に葉山に移住、葉山は兄のヨットで縁がある場所でした。逗子葉山には地場の野菜があるものと楽しみにしておりましたが葉山産は多少ありましたが逗子には農地がありませんでした。野菜を探していた私は湘南国際村の先にある「広大な農園（森と畑の学校）」に出会いました。

その有機栽培の農園に私は子供を連れて通い、やがて手伝うようになり農家の現実を目のあたりにしました。手間をかけて栽培しても生産量の約3分の1はB品以下の規格外で出荷も出来ず、畑の肥料や家畜の餌になる「もったいない」現実を知り、それらを生かす事業は

出来ないかと考え「もっと畑を日常に」をモットーに法人（ファームキャニング）を設立しました。

ソーメン・野菜ソースセットの販売、規格外や採れ過ぎ野菜のレスキューの為

にケータリング事業も始め、様々な試行錯誤を繰り返し、今や県内・都内の店舗にも卸ができて現在に至っています。マスコミにも注目されてNHK出版の「やさいの時間」など雑誌に連載記事を書き、書籍も「畑のびん詰め」他1冊を出版しました。

ビン詰めにこだわるのは3.11（東日本大震災）からでビンは常温保存が可能でサスティナブルだからです。最近は逗子市社会福祉協議会のフードドライブ事業に協力、特に子どもの応援をしています。先日は大玉の三浦スイカを持ち込み大変喜ばれました。今後も“食”を通じて社会のお役に立つように努めてまいりたいと思っております。どうもありがとうございました。（担当 稲垣 正）



9月理事会報告

☆予算執行状況報告7～8月

☆60周年記念事業について：

9/23の漁業体験は、コロナ感染状況により延期。今後の状況を見ながら日程を決めていく。

☆10/21 葉山 RC・逗子 RC との合同例会：

- ・昼のゴルフコンペは第2グループ各クラブに案内をする。
- ・例会は18:30～19:30 葉山国際カンツリー倶楽部の予定。送迎バスはJR 逗子駅発17:40及び16:40の2便。
- ・当日、緊急事態宣言下であれば、zoom 例会、蔓延防止期間であれば、ハイブリッド例会。
- ・例会内容は、60周年記念事業ダイジェスト版のパワポ、もしくは動画の発表を予定。

☆報告：岩堀恭一会員が退会。

9月号「ロータリーの友」解説



山本由夫雑誌副委員長が選んだおすすめの記事を「見る見るロータリーの友」により、解説。



8月の夕焼け

ニコニコBOX本日合計 ￥11,000 累計 ￥257,000

服部君…西村さん、宜しくお願ひします。

菊池君…コロナの感染者拡大が、なるべく早くピークアウトしますように。

清水恵君…西村様、参考になります。有難うございます。

横瀬君…西村様、素晴らしい活動ですね。賛同します。

矢部君…西村千恵様卓話ありがとうございます。農園

から食卓への伝道師ですね、ご活躍下さい。

大野君…保存食興味度高いです。勉強になります。

大野君…ダーチャ最高です

徳永君…来年はキルギスに行きましょう

（チャットで申告）